

# 日本共産党大垣市議団 はんざわ多美の市政報告

第61号 2021年5月号

## 大垣市長選挙に込められた4612票の想い 笹田トヨ子へのご支援ありがとうございました！

### 20年ぶりの日本共産党公認候補として！

4月18日投票の大垣市長選挙に20年ぶりに日本共産党公認で笹田トヨ子が立候補しました。私は小川市政20年の中で16年間唯一の野党として対峙してきました。新しい市長を選択するにあたり、財界中心の小川市政を継承するのか、それとも市民に寄り添う本当の“こども・子育てのまち、おおがき”を創るのか、市民の皆さんに選択肢を提示する責任があると、出馬を決意しました。



(もとむら伸子衆議院議員と)

### 市民のいのちや暮らしに責任のある地方自治体の首長

結果は、4612票、(得票率9.39%)で2年前の県議選の得票及び得票率には及びませんでした。しかし今回の市長選挙は、多くの方々から時間やお金そして知恵や励ましと様々なご支援があり、私が経験した中で投票日が近づくにつれて最大に気持ちが盛り上がった選挙でした。

投票率は40%を切り、約8万人の市民が棄権しました。地方自治体は市民のいのちや暮らしそして子育てなど市民生活に直接の責任を負っています。市長選挙はそのリーダーを選ぶ選挙です。どのような大垣のまちづくりを行うのか、市民が選択できるようしっかりと政策を提示することが大事と思っていました。しかし、他候補との十分な政策論争ができず、そうした意味では、投票率も低調で盛り上がらない選挙となり残念でした。

一方で、市長予定候補者の意見交換会や5つの団体から公開質問状が出されたこと、様々な団体との懇談会や「トヨ子の部屋」を開催し、市民の皆さんから多くの意見が出されたことは、今後の市民の要求実現運動にとってその道筋を示す良い機会となったのではないかと思います。

今回、選挙をめぐる民主主義的課題がたくさんあることを改めて実感した選挙でもありました。たとえば、施設に入っている方が投票に行きたくてもコロナ禍を理由に施設から出してもらえず、投票する権利を奪われている実態が明らかになってきたことや一部の地域や企業で、「投票済証」提出を半強制的に求められていることです。憲法では「選挙人の自由な意思によって投票ができる」(憲法21条第1項)と自由選挙が保障されています。投票したかどうかは選挙人の自由な意志で行われるべきもので、「投票済証」提出を求める行為はおかしいと思います。

最後に、日本共産党公認の笹田に支持をお寄せくださいました有権者の皆さま、そして当選の為に日夜奮闘していただいた党内外の方々から心から感謝を申し上げます。また、公約に掲げた政策については、中田・はんざわ両議員、そして市民のみなさんと一緒に実現のために今後も頑張ります。

(日本共産党大垣市委員長 笹田トヨ子)

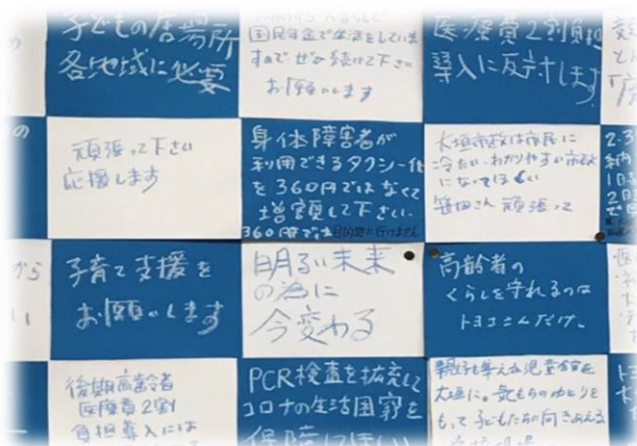
# 総選挙 日本共産党の躍進で医療破壊にストップを！

## 「垣老」を守り、75歳以上医療費窓口負担2倍化に反対！

市長選挙では、市民のいのちを脅かし、「垣老」制度も崩す「後期高齢者医療費2倍化法案」反対も訴えました。国政は市民のくらしやいのち、教育に大きく影響します。来たる総選挙では、市民と立憲野党の共闘を成功させるために、日本共産党の躍進で、菅政権 NO！を突きつけましょう。

(日本共産党大垣市委員長 笹田トヨ子)

## はんざわ多美の大垣市長選1コマレポート



(選挙事務所に貼られた市民の皆さんからの要望)

議員をする親の元で育つ息子には、否応なく選挙の情報が入ってきます。今回、トヨ子さんの選挙で、さまざまな市民が要望を書きました。「学童を広くしてほしい」と書いた息子。学童の中でぎゅうぎゅう詰めで過ごすわが子の思いは切実だったと思います。

市長選挙は、市民の要望に対する市長候補の考えを問ういい機会です。今回、笹田トヨコさんは、こうした中でも「市民の要求をしっかりと提示したい」という思いが選挙戦を通じてにじみ出ていました。

市政の動向は、いつも市民の手中にあります。選挙戦前に行われた候補者の公開意見交換会では、小川市政を継承するとしていた石田仁候補者から、「育休退園制度の見直し」「学童保育所の土曜日実施と6年生まで受け入れに取り組みたい」という趣旨の発言がありました。これまでの20年間の小川市政で実らなかった点についての言及であり、市民本位の行政を進めていくための選択肢として出馬の意義が感じられた発言でした。

連休明け早々に、臨時議会が行われ、新市長の挨拶や今年度議長選出等があります。6月議会に向けての準備も進めていきます。選挙戦でも示された市民の皆さんの声こそが議会活動の支えとなります。どうぞよろしくお願ひいたします。(はんざわ多美)

## 老朽化が進む子どもたちが通学に利用する歩道橋、改修決定！



(老朽化が進む日の出町歩道橋)

大垣市には、県管理の歩道橋が15橋、市管理の歩道橋が5橋あります。大垣市管理の歩道橋は、中川小学校北の歩道橋が2000年代に作られたということですが、その他は、1960～70年代に建てられているため、そろそろ劣化が進んでいます。特に、子どもたちの通学に利用する歩道橋の点検と改修は欠かせません。今回、日の出町の歩道橋について、昨年、通学に付き添うお母さんから不具合の相談があり、管理する道路課に点検をお願いしたところ、ずいぶん朽ちていることがわかり、今年度予算決定されました(改修費1900万円)。お母さん目線で、「ちょっと気になる」が、安全管理につながったと思います。工事は、「夏休み中に行いたいですが、大工事になるため、学校と相談しながら、登校日にかかる時には、ご協力いただきたい」との市の説明でした。(はんざわ多美)